

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2017年3月24日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部 国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カピオラニ・コミュニティ・カレッジ 現地言語: Kapi'olani Community College
留学期間	2016年8月～2016年12月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Liberal Arts <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2016年12月30日
明治大学卒業予定年	2019年3月

留学費用項目	現地通貨 (ドル,\$)	円	備考
授業料	4,500	450,000 円	
宿舍費	5,000	500,000 円	kalo terrace (寮)
食費	900	90,000 円	
渡航旅費	2,300	230,000 円	往復で。
その他	3,000	300,000 円	日用品なども含める。
合計	15,700	1,570,000 円	

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
寮	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数2部屋が4つついている8人暮らし)	
3)住居を探した方法:	
明治大学から提示された寮の中から1つ選択し、自身でその寮の方とメールでやり取りして、入居した。	
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
私の滞在先の部屋に、私以外にも何人かの日本人が入居していたが、ほとんどは他国出身であり、異なる文化や言語を持つ人と共に生活するという貴重な経験ができたため、寮に滞在して非常に良かったと感じている。私は2人部屋であったため、あまり広い部屋ではなかったが、そこまで汚い部屋ではなかった。2人部屋の場合、ルームメイトとの相性や生活時間が合わない場合は、とてもストレスがたまると思う。そのため、もし自分だけの空間がほしい場合は、1人部屋をおすすめする。	
現地情報	
1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?	
<input type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input checked="" type="checkbox"/> 利用した: 目が炎症をおこしたため、現地の日本人医師の元に診察を受けに行った。Kapi'olani Community College 内の医務室は利用したことがないため、詳しくは分からないが、ハワイ大学内には診察室があり、そこで医療サービスを受けることは可能だった。	
2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
HIC という留学生専用のサポートセンターがあり、日本語を話すことができるサポーターもいる。	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
ネット情報や、知人から教えてもらった。	
4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
ソフトバンクのアメリカ放題に加入していたため、現地で携帯電話を買わずに自分のスマートフォンを使用していた。私の滞在先の寮にも学校にも、WiFiが通っていた。ワイキキなどの観光地には無料のWiFiがとんでいる。	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
クレジットカードとデビットカードを使用していた。他に、キャッシュパスポートを使用している人もいた。	
6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。	
もし自炊をする場合は、日本の調味料を持っていくことをお勧めする。現地でも調達できるが、ハワイの物価は非常に高い。ハワイでは、ほとんどのものが調達できる。	
7)授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)	
ネットからカード払い。オリエンテーションで授業を登録した際に、申し込んだ授業の単位分だけ支払う。	
卒業後の進路について	
留学を通して生じた、今後の進路についての考えについて教えてください。	
実際、まだ将来就きたい職業は確定はしていないが、留学して異なる文化に触れたことで、ハワイ以外の様々な国の文化に触れたり、直接自身の目で見てみたいと思うようになった。また、それだけではなく、日本の文化も理解し、他国の人々に発信できるようになりたいと考えている。	

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
13単位	<input checked="" type="checkbox"/> 9単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Hawaiian	ハワイ語
科目設置学部・研究科	Liberal Arts
履修期間	2016 秋学期
単位数	4
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 100 分が 2 回
担当教授	Elizabeth Wight
授業内容	基本は講義形式の授業で、毎回ペアで授業をおこなった。 ハワイ語だけではなく、ハワイの植物や伝説などの雑談を先生がしてくれた。また、授業中に chant を歌うことも度々あった。また、会話や発音の練習をペア同士で行った。期末試験後、一番最後の授業で、ハワイ伝統の飲み物である Kawa を生徒全員で飲む、Kawa Ceremony を行った。
試験・課題など	試験は章ごとにペアでの試験を行った。テストは、章ごとのテストと、宿題、そして歌を暗記するというテストもあった。しかし、出席重視であったため、テストの出来はあまり成績に反映されなかった。
感想を自由記入	留学生が少なく、ほとんど現地の生徒が受講していたため、ペアワークなどでローカルの人々と関わることができ、非常に楽しい授業であった。また、ハワイの会話の中には、日常的に使用されているハワイ語もあるため、それを理解することができたのも嬉しかった。最後の授業の Kawa Ceremony は、実際にハワイに滞在したからこそできた貴重な体験であり、このような体験ができたことは本当に素晴らしいと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Hawaiian Studies	ハワイアンスタディーズ
科目設置学部・研究科	Liberal Arts
履修期間	2016 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Jonathan Moniz
授業内容	ハワイの伝記や神、また食文化など多方面にわたり、ハワイ文化に関して学んだ。授業は、講義形式が中心であったが、各チームに分かれて、プレゼンを行うこともあった。ハワイの伝統的な食事を各チームでプレゼンし、その料理を調理し、生徒全員で食べた。
試験・課題など	試験は、各セクションごとに5回ほど選択式の筆記テストが行われた。また、テストの日までに、決められたテーマについて2枚以上のエッセイを提出した。また、自分の先祖に関する調査を行うという課題もあった。それ以外にも、先述した Food Project というハワイ料理のグループプレゼンや、ハワイの都市・島・山の名称テストなどがあった。

感想を自由記入	授業は毎回講義形式だったため、英語を聞き取ることが難しかったが、日本人留学生が多かったこともあってか、先生がゆっくり話してくれ、わかりやすかった。全授業の中で一番大変だったことは、ハワイの神々や島を暗記することであった。ハワイ語は英語よりも少ないアルファベットしか使用しないため、名前が似ており、とても難しかった。
---------	---

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Modern Hula	モダンフラ(実技)
科目設置学部・研究科	Liberal Arts
履修期間	2016 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	1.5 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	実技(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に115 分が2回
担当教授	J. Lemomi Ho
授業内容	ハワイ伝統の楽器"ipu"を使用して、フラダンスを踊ったり歌を歌った。またダンスや歌が何を表しているのかについても学んだ。
試験・課題など	ダンスの実技テストと、chant の暗記確認テストが、新しい歌に入るたびに行われた。また、フラの基本ステップの筆記テストも行われた。 毎回の授業後の課題は、その日の授業で学んだことや感想を、2 枚の紙にまとめるというものが出た。新曲に入った時は、その歌詞の知らない単語の意味や chant の背景を調べて提出した。 学期末の課題は、5 枚のエッセイで、テーマは「フラに関係のあるものであれば、どのようなものでも良い」というものであった。例えば、フラ自体に関連のないハワイの神々や伝説でも可とされた。
感想を自由記入	先生は非常に厳しい女性だったため、時折、授業が大変であると感じることがあった。しかし、ハワイの伝統楽器を直接見ることができたり、ハワイの歴史に触れる機会が多くあり、非常に面白い授業であった。受講していた生徒は、ほとんど International の生徒たちだったので、現地学生と話す機会は少なかったが、留学生と話す機会はとても多かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Hospitality and Tourism	ホスピタリティ アンド ツーリズム入門
科目設置学部・研究科	Tourism and Hospitality Management
履修期間	2016 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Amy Shiroma
授業内容	観光産業に関する職種や仕事内容などを大まかに学んだ。例えば、ホテルやレストラン、またはカジノ産業に関してなどである。15 に分かれた section を、1 回の授業で 1 つずつ進めていった。また、確認テストの前の回の授業では、グループ対抗のクイズが行われた。 後半の授業では各生徒が 1 つ都市を選び、その都市の観光産業や見どころなどに関するプレゼンを行った。
試験・課題など	毎回の授業前課題は、予習として教科書を読み、Gamers Gide という冊子の問題に答えるというものが出た。 テストは、各章の確認テストを学期内で 3 回に分けて行われた。その他には、学んだ観光産業に関する企業について調べるというエッセイが、2 度課題として出された。 最終課題は前述した Destination Challenge という観光地のプレゼンが行われた他、期

	末試験があった。テスト形式は、毎回オンラインで、教科書やノートを見るのも可であった。
感想を自由記入	観光都市であるハワイだからその、具体的な観光業の話などを先生から聞くことができ、非常に面白かった。授業も講義だけではなく、グループディスカッションやプレゼンなども含まれていたため、退屈だと感じる事がなかった。特にグループでのクイズが一番楽しかった。ほかの生徒と話し合いながら、答えを探す作業の中で仲良くなる事ができたからだ。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2015年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	国際日本学部の協定留学の各学校の特徴や授業を調べ始める。
10月～12月	学内選考の面接に向けて、先輩の話を聞いたり、6階の留学相談に行ったりした。提出書類を先生に添削してもらったり、面接の練習をしたりした。 12月に選抜面接が行われた。
2016年 1月～3月	留学先のオリエンテーションが行われた。
4月～7月	ビザなどの、留学に必要な書類の準備・申請。昨年度留学した先輩との懇談会や相談会に参加した。
8月～9月	8/1にハワイに渡米。9月の中旬には、学校のオリエンテーションが行われた。8/22から授業が開始。初めの頃はお試し期間で、聴講が可能。 9月末頃に、中間試験が行われた。
10月～12月	12月に期末試験が行われた 12/30に帰国。
2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	元々、大学に入学する前から、どこか英語圏の国へ留学したいと考えていました。私は、歴史や文化に関して興味があるので、様々な国へ行き、直接見て学びたいと考えていたからです。また、異なる文化背景を持つ人と交流したいとも考えています。そのために必須である、英語力を向上させたいと考えたことも留学を希望した理由の1つです。留学した先輩のお話を聞いたり、友達と互いに刺激あったことで、より留学したいと思うようになりました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学前の準備としては、前期の授業で留学生と一緒に受ける type1 の講義を受講したり、英語に関わる機会を出来るだけ増やすようにしました。しかし、私は非常に準備不足であったと、帰国してから実感しています。まず、自身の語彙力やリスニング力の低さを実感し、もっと留学に行く前に勉強しておけば良かったと後悔しました。人とコミュニケーションをとるうえで、リスニング力と語彙力は本当に重要であると思います。また、アクセントももっと正確にしておけば良かったと思います。度々、アクセントが誤っているために意思疎通が出来ないということがありました。それまでは全く重視していませんでした。さらに、ハワイの文化を学ぶうちに、自身の日本文化について、自分が全く説明できないことがわかり、もっと日本について勉強しておくべきであったと思いました。
この留学先を選んだ理由	先述したように、各国の文化に興味があり、学部協定校の中で特に、独自の文化を保有しているハワイに留学し、直接学びたいと考えて、Kapi'olani Community College を選びました。教師と生徒の距離が近いということも、非常に魅力に感じていました。また、観光業に関心があったことも、同校を選択した理由の1つです。Kapi'olani Community College には Tourism and Hospitality という学部があり、実践的な観光業に関する授業が多く行われています。授業のみならず、ハワイの観光サービスの実態も、直に見ることが出来ると思えました。
大学・学生の雰囲気	Kapi'olani Community College では、誰でも入学できるという制度をとっています。そのために、同世代の現地の学生だけではなく、多くの留学生や、ハワイに軍の基地があるため退役した元軍人の方も在籍しているなど、非常に幅広い世代の学生がいます。雰囲気としては、とてもアットホームで、先生と生徒の距離がとても近かったです。学生は、アジア系やポリネシアン系など人種で固まることが多い一方で、人種差別などはなく、クラス全体が和やかで、仲が良かったです。英語が拙い私の質問にも丁寧に答えてくれ、本当に親切にしてくれました。
寮の雰囲気	私が滞在した Kalo Terrace の評判はあまり良いものではありませんでした。よく「あの寮はパーティばかり開く。」と言われました。しかし、私のルームメイトは皆、本当に優しく、この寮を選択して良かったと思います。寮でのイベントも1カ月に一度くらい催されていました。しかし、参加率が高いわけではなく、他の部屋の人と交流する機会はあまりありませんでした。部屋割りは、配慮してくれたのか、日本人が私の他に2人いました。また出来るだけ同じ学校に通う生徒を同室にしてくれていました。また、RA の中には女性の方がいたので安心して過ごせました。 寮の建物の雰囲気ですが、すごく綺麗というわけではありませんが、過ごしにくいわけではありませんでした。基本的に家具はついていますが、シーツなどの日用品はついていませんでした。掃除用具や食器は、以前に滞在していた人の物が残っていることも多く、部屋によっては炊飯器が置いてありました。立地はバス停が近くにある上に、スーパーなども近くにあり、比較的良かったと思います。しかし、大学に行くには少し歩か、乗り換えをしなくてはならず、少しだけ面倒でした。
交友関係	一番難しかったのは交友関係であったと思います。授業が終わると、現地学生はすぐに家に帰ってしまうので、話して仲良くなれる機会は多くありませんでした。当初は、本当に話しかけられず、とても悔しい思いをしました。話しかけられるようになった後も、ネイティブのスピードについていけず、会話に入ることが困難でした。 私の場合、現地の学生よりも、他国からの留学生同士のほうが仲良くなりやすかったです。また、ハワイには多くの日本人留学生がいたため、校内の留学生は日本人同士で固まってしまいがちでした。英語を話す機会は少なくなってしまうのですが、お互いを励みにしたり、相談しあったりし、非常に深い関係を作れたと思います。例えば、一時期、話しかけることが怖くなってしまったことがありましたが、同じ日本人留学生の子に励まされ、何とか立ち直ることができました。 現地の学生とは、クラス内のグループワークなどで関わるうちに、少しずつ話すようになりました。しかし、学期後半でやっと少し仲良くなれたところで帰国しなくてはならなかったのが一番悲しかったです。 ハワイ出身の学生の中で、一番仲良くなれたのは、ルームメイトのマウイ島出身の学生

	<p>だと思えます。彼女はフラダンスをしていたため、練習を見せてくれたり、私のエッセイを添削してくれたりしました。マウイ島が実家で、Thanks Giving Day などのイベントの日は実家に帰ってしまうことが多く、どこかに出かけるというよりは、部屋で話すことが多かったです。</p> <p>クラブ活動ではありませんが、日本語のクラスのチューターとしてお手伝いしていたことから、日本に興味のある生徒と知り合う機会がありました。</p>
困ったこと、大変だったこと	<p>寮で生活していたため、自炊が大変でした。日本に比べて物価が高いので、日用品や食費の出費が多く、それが一番の悩みでした。また、8人で暮らしていたのですが、他のルームメイトが食器を洗わずに放置しがちだったのが、少し嫌でした。寮で暮らしていると、このような小さなことにイライラしたりすることが時々ありました。</p> <p>学習面においては、特に大変だったことは思いつきませんが、自分の英会話力が向上しているのかがわからず、悩むことがあり、自分に自信を持つことが出来ずに苦労しました。</p>
学習内容・勉強について	<p>私はハワイ文化の授業を中心にとっていたため、それぞれの授業で学んだことが他の講義で出てくることが多くあり、それぞれを結びつけることがとても面白かったです。また、Kawa Ceremony や Food Project などの、授業内で行われたハワイ文化に触れるきっかけとなるイベントが非常に面白かったです。</p> <p>講義が英語で行われるため、理解に苦労することも多くありましたが、授業後に先生に質問をすると丁寧に説明してくれたので、何とかついていくことが出来ました。また、校内の図書館には、教科ごとに質問できるスペースがあり、添削を頼むことが出来ました。</p>
課題・試験について	<p>課題の量は、日本での量に比べると多くありましたが、バイトなどをしてない分、自分の時間が多くあり、そこまで大変であると感じたことはありませんでした。エッセイも日本ではあまりないような、名前の由来や祖先についてなど、自分自身を見つめ直すテーマのものが多かったので、大変というよりも、楽しく取り組んでいました。全体的に、試験もそこまで大変なものは無かったうえに、プレゼンやディスカッションなどの講義も多く、毎回の課題を楽しみにしていました。</p>
大学外の活動について	<p>SHIMA というボランティア団体に所属したり、日本語クラスのチューターとしてお手伝いしたりして、出来るだけ多く人と関わるようにしました。また KCC の留学生のクラブである International Club がイベントを主催したり、異文化交流を目的とした International Café は金曜日の午後にあったので、そこに参加していました。</p> <p>また、道端やバス停で話しかけられることが多く、会話の練習として、話しかけられたら出来るだけ会話するようにしていました。また同じハワイ語の授業を履修していた女性が、Thanks Giving Day の日に家に招待してくれたおかげで、ハワイ式の Thanks Giving Day を経験することができました。</p>
留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと、アドバイス等	<p>私は何よりも大事であると思うことは、自分から行動するということです。留学してみても感じたことは、日本のように何かを察することは少なく、自分から発信していなくては、何も相手に伝わらないということを学びました。</p> <p>ハワイは観光地なので、日本語が通じることも多いうえに、多くの日本人留学生がいます。英語を使う機会は、自分から求めなくては得られないと思います。</p> <p>それは友達作りでも同じことが言えます。自分から話しかけることが非常に大事であると思います。自分が明治大学にいたとき、留学生に話しかけたことはありませんでした。留学生同士で固まっている上に、何語で話せばいいかわからなかったからです。それは、ハワイの現地学生でも同じであると思いました。すでに自分に友達がいる状態だと、わざわざ団体でいる日本人留学生に、自ら話しかけてはこないと思います。だからこそ、まず自分から行動することは、留学するうえで何よりも重要なことであると思います。</p> <p>ほとんどの人にとって、これほど長い期間、海外で生活できる機会は無いと思います。なので、色々な場所に行ってみたり、イベントに参加したりして、多くの人と自分から関わってみてください。</p>



## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		Hawaiian	自習	Hawaiian	自習		
		Modern Hula		Modern Hula			
午後		Hawaiian Studies	Tourism and Hospitality	Hawaiian Studies	Tourism and Hospitality		
			日本語クラスの 手伝い				
夕刻		自習		自習	International Café		
夜							